

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY 名古屋 ちくさ

題字 伊藤昌石

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 名古屋東急ホテル
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
会長 渡邊 源 市
幹事 鈴木 聖 三
広報・会報委員長 小林 英 毅

No. 10

人類に奉仕するロータリー
ROTARY SERVING HUMANITY

2016～2017年度

RI会長
ジョンF.ジャーム

今日の例会
第1612回 平成28年10月4日(火)
優良従業員表彰

先回の例会
第1611回 平成28年 9月26日(月) 晴
服部良男ガバナー公式訪問
【東・昭和・千種3RC 合同例会】
ウイスティンナゴヤキャッスル 2階 天守の間

◇会長幹事懇談会 11:30~12:10 3階 萩の間

3RC 合同例会 (ホスト:名古屋東ロータリークラブ)

- ◆君が代
- ◆奉仕の理想

黙祷

本日は、服部ガバナーはじめ岩月昭佳地区幹事、加藤博巳地区事務長にお越しいただきました。ようこそお越しいただきました。心より歓迎いたします。

また千種ロータリークラブ、昭和ロータリークラブとの合同例会を開催できますことをうれしく思っています。今日は当クラブのことで貴重なお時間をいただきます。当クラブの主要なメンバーでした田島保紀君が55歳の若さで亡くなりました。将来を囑望していましたが、残念なことです。また、前会員の神谷忠君も亡くなりました。それだけでなく、元ガバナーの大澤輝秀さんも亡くなりました。心よりご冥福をお祈り致します。

開会に先立ちまして、黙祷を致しますので宜しくお願い致します。

(黙祷)

◆来訪者紹介

RI 第2760 地区ガバナー 服部 良男様

RI 第2760 地区幹事 岩月 昭佳様

RI 第2760 地区事務長 加藤 博巳様



◆出席報告

会員 34 (27) 名 出席 21 名
出席率 77.78 %
前々回 9/13 (修正出席率) 96.00 %
★ビジター数 (9/27) 36 名

東 RC 鈴木 建吾 会長挨拶



東クラブは1959年5月に設立されました。今年で57年になります。2019年は創立60周年にあたります。周年事業も考えていますのでよろしくお願い致します。

現在、会員数は92名です。最近若い方が入会されまして、平均年齢も若くなっています。それと

ともに、チャーターメンバーの古川善次郎さん、古川博三郎さん、そして尾関重雄さんもお元気で出席していただいています。大変嬉しく思っています。

服部ガバナーは「真のロータリアンになろう、ロータリーを見つけよう」というテーマを打ち出されました。親睦を深めて、高潔性を高め、多様性を認める、リーダーシップをもって奉仕するというをおっしゃっています。その通りだと思います。

世界の平和を求めて皆生きているわけですが、なかなか平和になりません。日本が70年以上に亘って平和な状況でいられるのは本当に幸せなこととして、感謝しなければいけないと思います。

この気持ちを大切にしたい。そのためには道徳性とそして経済、「論語と算盤」と渋沢栄一さんが言っていますが、その二つが相まって初めてできると思います。

そこで、私どもは社会奉仕の一環としてインドのフネーでタブレット端末の寄付をしています。また、職業奉仕の一環として、来年の3月6日にウェスティンナゴヤキャッスルで、渋沢栄一の孫の渋沢健さんの講演会を開催します。幅広く一般公開しますので、皆さんにご参加賜われたら幸いです。よろしくお願い致します。

これを持ちまして、簡単ですが私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

千種 RC 渡邊 源市 会長挨拶



皆さんこんにちは。千種ロータリークラブの渡邊です。ロータリー歴 12 年、職業分類は内科医師です。

はじめに、本日服部ガバナーをお迎えした 3 クラブ合同例会開催の労をおとりいただいた名古屋東ロータリークラブ様に謝意を表します。

また、新年度間もない 7 月 19 日、当クラブが主幹したインターアクト年次大会が、ガバナーはじめ、地区関係役員多数のご参加、また名古屋東、及び名古屋昭和ロータリークラブ様の全面的な協力にて開催できたことにお礼を申し上げます。

さて、今年度の当クラブテーマは、「クラブ奉仕からはじめよう」です。五大奉仕の根幹であるクラブ奉仕の理念を会員全員が心に留め、会員相互の理解と交流を深めることがクラブの発展に必須であると考えて会員に呼びかけをしました。具体的施策として、全会員にミニスピーチの場を提供しました。クラブ内委員会の定期開催、及び懇親会開催を呼びかけました。また担当委員長に地区委員会報告をさせて、委員長以外無関心となりがちな会員に、クラブ運営の主人公であるという意識を持ってもらうようにしました。その結果会員ミニスピーチでは持ち時間 3 分が 10 分以上に延びるなど、例会に活気が生まれるようになりました。10 月には新会員 2 名が入会します。クラブが変わっていく感触を実感しています。当クラブは今年度 35 周年を迎えました。来年度の記念事業、記念式典には、ちよっぴり成長した千種ロータリークラブをご披露いたします。これからも東、昭和、千種、3 クラブが其々のアイデンティティを尊重しながら、協力していくことを願っています。

最後に、ガバナーのメッセージ、「真のロータリアンになろう」を胸に、力強くクラブ運営に取り組むことを誓い、挨拶と致します。本日はよろしくお願い致します。

昭和 RC 加藤 厚 会長挨拶



本日は、服部ガバナー、岩月地区幹事、加藤地区事務長をお迎えして、名古屋東・千種・昭和ロータリー合同例会の開催ホストをして頂いた名古屋東ロータリークラブに感謝申し上げます。また、先程、会長幹事懇談会において、ガバナーからいろいろ御指導頂きまして、御礼申し上げます。

さて、当昭和クラブは、今年度 25 周年を迎えます。四半世紀を経て、当年度「これまでと、これから」という方針でやらせてもらっています。これまで当クラブが歩んだ道を振り返るとともに、現状を分析し、将来あるべき方向を探りたいとの思いで、一つずつ確かめていきたいと思っています。

例えば、先日の理事会で承認された、昭和区役所への

航空写真パネルの寄贈があります。これは、十数年前に当クラブが寄贈したものが、昭和区役所一階のエレベーター横の壁に飾ってあって、「昭和ロータリークラブ寄贈」と表示されています。ところが、劣化してしまって、表面は凸凹波打っている状態です。そのようなみっともない物を掲示したままにしてあることは、それは昭和ロータリークラブの恥になると思ったのです。ですから、新たな昭和区全体の航空写真をパネルにして寄贈し、「昭和ロータリークラブ寄贈」と飾ってもらうことにした訳です。こうした発想で、メンバー全員で一つずつ考えたいと思っています。

講話 服部 良男 ガバナー



只今ご紹介いただきました今年度ガバナーを拝命しております服部良男です。宜しく願い申し上げます。

今年度 RI 会長のジョン F. ジャーム氏はアメリカ人で、ロータリー歴 40 年。特に財団に貢献があり、ポリオプラス委員長もされておられました。今年は久しぶりにアメリカに会長が戻られ、大変アメリカが盛り上がっております。

今年の RI テーマは「ROTARY SERVING HUMANITY」日本語にしますと「人類に奉仕するロータリー」と訳されております。サブタイトルとして「ロータリー財団 100 周年をお祝いしましょう」「ポリオを撲滅しましょう」この 2 点を伝えられました。

また地区、各クラブでも、100 周年を祝った記念の事業をして下さいとのことでした。WFF、地区大会におきましても、この記念という冠をつけて色々な活動をさせて頂きます。

そして、「アトランタへ来て下さい」というメッセージでありました。今年は 2760 地区から初めて、斎藤バスターガバナーが RI 理事になられました。是非、多くの皆様にアトランタ国際大会へお出かけ頂き、アメリカらしい国際大会にご参加頂きたいと思っております。

さて、この RI 会長のテーマを説明させて頂きます。

RI テーマ：「ROTARY SERVING HUMANITY」

「人類に奉仕するロータリー」という日本語訳になりますが、SERVING というのが、本来であれば ROTARY SERVED HUMANITY. SERVING と、ing を使っているのではないかと受け取って参りました。これを変えるなら ROTARY という集合体ではなく Every Rotarian should be serving for people every day. 毎日全てのロータリアンは人々に奉仕し続ける、と言うメッセージがここにあると思います。「ロータリアンは毎日奉仕活動をしよう。困っている人がいたらその人を笑顔にしよう。これがロータリアンの奉仕活動の原点である」言葉を変えるなら「ロータリアンは困っている人がいたら背を向けず、自分のできることをする、それが奉仕。その結果、人が笑顔になる事、そして仲間のロータリアンとその奉仕の輪を拡げる事、それがロータリーであ

る」メッセージの中でこのように我々に伝えておられると受け取って参りました。

2760 地区の会員数は多かった時で 6,000 名を越えていましたが、現在 4,754 名でスタートしておりますので、ずっと右肩下がりに減り続けております。RI は約 123 万弱の会員数で 10 年間横這いですが、先進国では全て 2~3 割減です。増えているのはそれ以外の国、韓国、台湾、インド、スリランカなどです。このように先進国でロータリーの会員数が減っていることに対して何故減っているのか、原因はなにか、我々は、トップは何をしたら良いのか考えてみますとブランドマーケティングです。①組織、団体が持っている強み価値(ブランド)を再認識する②ブランドを共有する③ブランドを使ったサービス、商品を作り上げる④それを理解してもらう。このブランドマーケティングを、全世界のロータリアンと進めていこうというのが、RI の戦略計画です。

①ロータリーのブランド ロータリー用語で中核的価値観「CORE VALUES」と呼んでいます。

- 1、Fellowship 日本語では親睦であります。Fellow とは同じ目的を持った仲間のことであります。
- 2、Integrity 高潔性、倫理観、倫理性であります。ロータリーの DNA でありますハーバート J. テラーが言っていた「四つのテスト」・真実かどうか、・みんなに公平か、・好意と友情を深めるか、・みんなのためになるかどうか、これを基準に考えたり、発言したり行動するというロータリーの DNA は、他の企業や組織にはない独自のものです。
- 3、Diversity 多様性 200 国を超える国、性別、職業、宗教の異なる人が集まってあるミッション、ある目的の為に一緒に活動をする。多様性の中に違うものを受け入れる寛容さがないと多様性は成り立たないのです。ポールハリスが創設時に多様性と寛容というキーワードを作り「寛容さこそロータリーだ」と 111 年前に言ったことであります。
- 4、Leadership ロータリーは地域のリーダーが集まっている組織であります。企業でのリーダーシップと我々のようなフラットでボランティア活動をするリーダーシップとは多少違うような気がします。ロータリアン活動を通じて ボランティアグループでのリーダーシップを学び続ける事、ビジョンを実現できること、リーダーであり続ける努力をする事、それがリーダーシップであります。
- 5、Service 奉仕であります。上の 4 つはロータリアン、ロータリーの持っている特徴であります。5 番目の Service だけがその特徴を使って伝えられる行動であります。ロータリアンが人々に与える唯一の言動や行動、困っている人がいたら一緒に考え、出来ることをする、そしてその人を笑顔にすること、これが RI 会長の掲げる SERVING という意味ではないかと思えます。「親睦をして高潔性を持って、多様性を持ち、リーダーシップを磨いて奉仕活動をしましょう」これがロータリーの原点であり、唯一伝えられる言動行動であります。サービスをする人間が笑顔でなければ相手は笑顔になりません。ロータリアンそのものが笑顔になる、それが親睦活動であります。目的は、「最後は誰かを笑顔にする」これがロータリーではないか、と感じています。

地区方針

「Be The Rotarian, Find A Rotarian~真のロータリアンになろう、ロータリアンを見つけよう~」と掲げました。真のロータリアンとはなにか。ロータリーブランドを認識し、それを磨いていく。人道的奉仕活動を行う ということです。「仲間と一緒に奉仕活動をし、ロータリーブランドを地域の人々に伝え、新しいロータリアンの仲間を見つけましょう。」

地区のビジョン

10 年後 20 年後を考える。将来の持続可能を考えるのが地区のビジョンです。「新しいロータリアン若いロータリアンを勧誘し、退会を防ぐには過去と現在だけでなく将来を見据え、ビジョン、あるべき姿を明確に、ロータリアンだけでなく地域の人々にわかる表現や言葉でブランドや奉仕活動を伝えていくこと」

戦術としては、ロータリーブランドを世界 123 万人で共有する「My Rotary」。また、「Club Central」は他クラブの目標、運営状況、情報を知ることができる共有ツールです。HP、Facebook、twitter 等ソーシャルメディアを利用してロータリーブランドを知ってもらう。10 年後 15 年後の存続を考えると「公共イメージの向上」が必須だというのが RI の戦略であります。

目標として、My Rotary 登録率 50%、入会 3 年未満者登録率 100%。宜しくお願い致します。

RI の戦略は、人道的奉仕活動を増やそう、公共イメージを向上させよう、そして各クラブの奉仕活動の強化、クラブでの人道的奉仕活動が増えること、質が上がるのがこの戦略の 1 番の目的であります。

そのことが仲間のロータリアンを増やすことでもあります。人道的奉仕活動の尺度は、奉仕に活動する人数×奉仕時間です。

地区の HP、Facebook も是非ご覧ください。

10 月の WFF も皆で盛り上げて頂き、地域の人々に我々の活動を PR して頂きたいと思えます。

また、この 1 年間クラブの皆様の人道的奉仕活動をお手伝いさせて頂き笑顔で過ごせればと思っております。本日はありがとうございました。



訃報



西川豊長法律事務所
弁護士 西川 豊長君

9 月 25 日 (日)
ご逝去されました
享年 94 歳

昭和 57 年 9 月 28 日ご入会
(チャーターメンバー)

1996~97 年度 15 代会長を務められました
謹んで心よりご冥福お祈り申し上げます

■国際奉仕 キャンヘルプタイランド報告

C.A.N.H.E.L.P.Thailand NT 通信 Vol.74 より

— 2016 年度奨学金授与式報告 —

今年の授与式は7月2日から7月8日の間にチェンマイ県、マハサラカーム県、カラシン県、ロイエット県、ムクダハーン県、ナコンパノム県の6県で行いました。今年は運営委員の内田がキャンヘルプタイランドの代表として授与式で奨学金を子供達に手渡ししてきました。無事終了できましたことと、並びに授与式で見聞されたことをご報告します。

7月3日チェンマイ県

チェンマイ県はカサロンの家の子供たちへの授与式。カサロンの家も訪問した。このカサロンの家は山岳では学校に通えない子どもを集めて学校に通学できるようにするための寮である。10年ぶりの訪問で当時はカサロンの家づくりに参加したが、雨風がしのげる寮も出きており、豚、養鶏、畑などの自給自足がしっかり出来ておりこの10年間、運営者と子供たちが頑張ってきた成果が同えた。カサロンの家には現状で困ったことはないとのこと。キャンヘルプタイランドは山岳部少数民族支援金の収入よりカサロンの家への支出が上回っており、プログラム上の経費は赤字である。カサロンの家の支出は寮の運営費に使用されており、学費や食費がほとんどである。特に食費は大きな割合を占める。寮に入っている子どもが、中学生高校生が多くなり、食べ盛りのためと思われる。一方でカサロンの家の母体団体であるラプー財団がキリスト教団体でもあるため(今回の訪問でも日曜礼拝があった)、単発的には宗教団体からの支援や寄付などがある模様。当会の山岳少数民族基金が増えなければ収入に応じた支援として減額方向となっていく予定である。運営者のタッサウニーさんも高齢化してきており、後継者もどうなるのかはわからない。新たに寮の生徒を増やしていくのか、事業を縮小していくのかは不明だが、現在在寮している生徒においては継続支援しながら様子を見るしかないように思われた。時間をつくって運営者のタッサウニーさんと話をする。希望の家・カサロンの家の卒業生は二極化。村に帰って副村長として指導的立場に立つ子どももいれば、連絡がとれなくなった子どももいる。寮生同士で結婚して子どもをもうけて自立している子どももいる。大学を出ても(地域開発)その仕事が見つからずにタッサウニーさんの手伝をしてる子どももいる。成功した子どもはタッサウニーさんの心の支えだとうまくいかなかった子どもは気がかりが残るとのこと。山岳の問題は複雑化。麻薬やお酒はもちろんだが最近では売春が非常にブームであると。昔のように貧困のために売春をするのではなく、小遣い稼ぎなど気軽に行っており、山岳民族のラインのグループなどで連絡を取り合っている。SNSやスマホによるやりとりで目に見えない状態で様々な犯罪が起きており、子供達が巻き込まれないように神経を尖らせているとのこと。10年前に寮にいたソムサッタという男の子が25歳になっており、私たちの送り迎えから何から世話をしてくれ非常に頼もしかった。寮を卒業後も次の世代を支える形が少し出来ており、この状態で継続されながら確固たる形になっていくといいのだが、と思いながら寮を後にした。

【教育委員長のスピーチ】

マハサラカームでは奨学金へのお礼、学生に奨学金の使い方についての注意(家計簿をつけるように計画してやること)各学校の先生たちに子供達を助けるように助言と指導を含めての依頼をしていた。

カラシンではカラシン県について紹介してくれた。カラシンは4学区に分かれており学校数が612校、生徒数11万数人、主要産業は農業で米、キャッサバ、さとうきび。恐竜の遺跡あり。古い街もあり仏塔などの遺跡などもあり1300年の歴史がある。奨学金へのお礼とドナーへの感謝の言葉を述べられた。

ロイエットではバンコクに両親とも出稼ぎであらず貧しい家庭が多い。よく勉強していい仕事につけるように、奨学金のお金でよりよい人生、新しい人生が始まることなど生徒を励ます内容であった。

ムクダハーン県では奨学金の使い道について、遠方の子はバス代などもあるだろうからそれでもいいので有意義に使うこと、ドナーへの手紙を書くように推奨。自分の誇りに思うことや身の回りのこと。質問などでもいいので、恩返しをしようと思わなくていいから手紙を書いて、将来はタイ国のためになる人。立派な人になってほしいという話をされた。

ナコンパノム県では子供の進学率を上げること、奨学金を大切に使うことなど。その後装人かの生徒に声をかけて話を聞いていた。スケジュールに追われずにゆっくり子どもの話を聞いた教育委員長はナコンパノム県のみ。

【現在の奨学金の金額設定についての質問】

確かに少し望みないとは思いますが、それを元に子供が自分で品物を仕入れて売るなどして自分で増やす努力も出来る。考え方次第だと思うという回答や他の団体のことを教えてくれる県担当者もいた。奨学金の団体でみなやり方は違う。1500パーツで1学区に70名の支援をする団体もあれば、小学生から大学生で価格設定を変えて支援する団体とある。少額を多人数に配り支援する団体と多額(高学年になる程学費も必要になる)を少数に配り支援する団体と2極化している様子。ナコンパノムでは高学年にはやはり少ないかもとの回答。

ニコボックス

池森 由幸	伊藤 健文	加藤 重雄
小山 雅弘	牧野登志子	松岡多加倫
三好 親	鍋野 可幸	大口 弘和
太田 和孝	大谷 恩	笹野 義春
鈴木 理之		

本日ガバナー公式訪問例会です

13件

合計 25,000円

次回例会 平成28年10月11日(火) 12:30 3階「錦の間」
卓話:「はだか祭の神男を体験して」 中部名古屋みらいRC 池谷 悟 君